

尾瀬 燧ヶ岳山行報告書

(山域) 尾瀬

(コース) 5/14 尾瀬御池～広沢/熊沢田代～俎岩(燧ヶ岳)～尾瀬沼～見晴十字路(弥四郎小屋)

5/15 弥四郎小屋～三条の滝～天神・西・横・姫・御池田代～尾瀬御池

(日時) 5月14日(土曜日)～5月15日(日曜日)

(天候) 晴れ

(参加者) CL: 内堀(記録)・江橋・時田

(山行タイム)

5/14 尾瀬御池 6:35～熊沢田代 8:55～燧ヶ岳 10:35～尾瀬沼 13:40～見晴十字路 16:00

5/15 弥四郎小屋 6:50～三条の滝 8:15～天神田代 9:50～尾瀬御池 11:05

(山行報告)

金曜日の夜、自宅を出発して江橋宅から会事務所に行き、テント・銀マットを乗せ、蘇我駅にて時田さんを回収して、松ヶ丘 IC から首都高・東北道に進んだ、スピードを出し過ぎたせいか、西那須野 IC 手前の矢板北 PA にて 0:00 過ぎるのを見計らって、西那須野 IC を降りた。

セブンイレブンにて朝食と行動食を購入して、尾瀬御池までひた走り 2:00 チョット過ぎに到着。高速を降りて約 2 時間も下の道を走る続けた事になる。テントを張り軽く飲んで 3:00 前に就寝した。翌朝は 5:00 起床が出来ず、5:20 頃起きてお湯を沸かし、朝食を掻き込んだ。

準備を済ませ出発出来るまでさらに時間を費やし、6:35 の出発となった。

天気は曇りで遠くから青空が見えてくる。これから天気は良くなるだろうと思った。御池の周りには雪が無く、5 月中旬にしては極端に雪が無いため、通常アイゼンから軽アイゼンに変えた。

御池田代方面に向かい、燧ヶ岳に向かう分岐を左折して広沢田代を目指す。途中、水芭蕉が我々を出迎えてくれ、この時期にあるとは思わず心を癒してくれた。



広沢田代までは雪もなく段差のある登山道を 1 時間程度で到着した。そこから、1 時間で熊沢田代であるが、途中やはり段差のある登山が続いて、日陰部分になると雪がチラホラ出て来た。

その先は、雪が続きメンバー二人は軽アイゼンを装着して進む。途中、下山してくる方に藪を通過があると言われた。この前来た時には雪が多く藪の上でしたね。トラバース気味に進み、笹藪に突入する。メンバーは初めての様で、苦戦の末脱出出来た。その先もトラバース気味に進むと、最後はかなり急な直登があり、息を切らせながら上がると、燧ヶ岳直下の平らな場所に出る。

メンバーはここで軽アイゼンを外す。私は最後までアイゼンを付けず登り切れました。

山頂は標識がなく祠がある。目の前には柴安岩がドーンと構えている。立派なもんだ。

軽い食事を済ませ、記念撮影をして下山開始する。記念撮影では体を横向きにしてポーズをとる。お腹を引っ込めることを忘れる人が若干いた。

下山は長英新道を進むが、本来なら見晴新道を行きたい所であるが、2 年前の台風の影響で登山道が流出してしまい、通行止めになっている。今年の秋ごろには復活との情報があった。

また、ミノブチ岩から尾瀬沼に進む登山道も通行止めになっており、今回一番の迂回路になって

しまった。ミノブチ岩までは順調に進むが、雪が日陰部分に所々にあり踏み抜きもあり、慎重に進むが、何回かは踏み抜いてしまう。かなり下った所からは登山道が滝のように水が流れていて、泥んこの戦いが続く、ようやく2合目の標識が見えもうすぐだと思ったのが間違いで、そこから1時間程度もだらだらした道を進むと、尾瀬沼に出られた。時間もないことから、ここで、お湯を沸かし少し遅い昼食を取る。見晴に行くにはギリギリの時間だな。昼食後は早足で沼尻に到着したが、トイレが使用出来ず全員諦めた。また、沼尻休憩所が焼失してしまい、無残な休憩所を見てしまった。何時になったら再建出来る事やら。

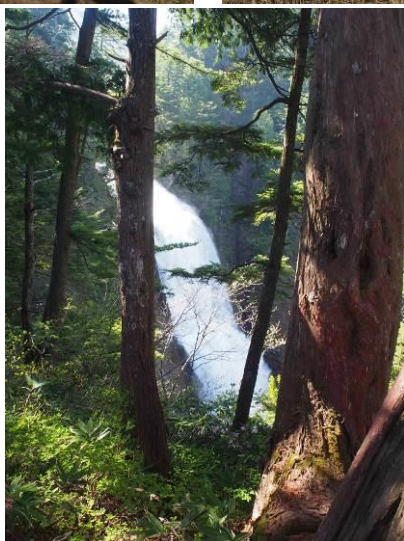
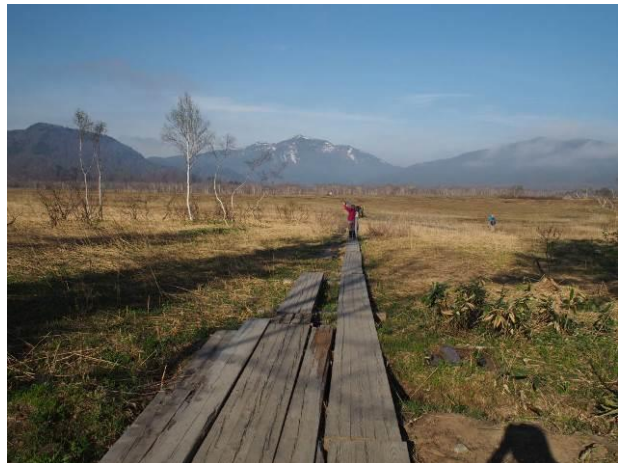
沼尻からは見晴十字路まではほぼ水平移動で若干下降気味に進むため、少しエンジンの回転数を上げ進むと、見晴十字路が出て来て、目の前には至仏山が私達を迎えてくれた。

見晴十字路の最前列の小屋である、弥四郎小屋今日の宿泊地は有った。今日一日歩いて、登山者が極めて少ない事が伺えた。本来なら雪が多く登山者も少ないのであろうが、今年に限っては雪が1ヶ月程度早く溶け出し、水芭蕉が咲く時期となってしまった。人が居ない尾瀬は特に良い。弥四郎小屋で宿泊準備を済ませ、部屋の中に8畳で3人と何と贅沢なことであろう。早々にお風呂に入り汗を流しさっぱりして、食事前に軽い宴会を行う。17:30から夕食が始まり、食べ物が美味しくご飯をお替りしてしまった。食事後は部屋に戻り、布団を引き宴会の続きを始めるが、本日睡眠不足から、中々エンジンが掛らない、そのうち眠さが襲い、歯磨きをして全員就寝につく。



翌朝は目覚めが良く、4:40頃には目が覚め、部屋でお話をしていると外から、少し寝かせて欲しいとクレームが入る。普通の山小屋では早々に起きて出発して行くのだが、尾瀬ではそんなことは無く、ハイカーが多く、登山より花や風景の写真撮る方々が多いのだろうと思った。食事6:00からと遅く、待ちに待った朝食を食べお替りをする。食事美味しく、山小屋のトイレはウォシュレットになっており、至れり尽くせりの宿にある事は間違いなさそうである。早朝はガスに掛っていた至仏山も時間とともにガスが上昇して、美しい至仏山が表れた。今の時期として相当雪が少ないな。登山者も極端に少ない。ここ見晴十字路も、開けていた山小屋は弥四郎小屋・桧枝岐小屋2件である。来週より温泉小屋含め全小屋がオープン予定であり、静寂し

た尾瀬を楽しめた瞬間であった。食事・トイレを済ませ温泉小屋を抜け平滑の滝・三条の滝を見て、燧裏林道に向かう。途中、裏燧橋が出て来て、以前に無かった橋を渡る。天神田代前までは樹林帯を只ひたすら歩き続け、天神田代に出た後は、田代が続き心を和ませてくれた。最後の御池田代では水芭蕉の大群生地が表れた。此処まで見えるのは無いので写真に収める。この登山道は、日曜日にも関わらず一人とも合わなかった。静かな尾瀬山行が出来たことを感謝して、尾瀬御池に到着した。帰りは、桧枝岐に降りて燧の湯で汗を流し、近くの蕎麦屋で有名な「裁ち蕎麦」とそば餅を食べ満足する。途中、道の駅たじまで各々、山菜を購入してお土産とする。蘇我駅には17:30頃には到着が出来た。久々の静寂な尾瀬を堪能出来、次の山行の活力になった。





以上